



令和8年度 高山市立新宮小学校 学校経営構想

めざす学校像

校長 都竹 克彦

【新宮地域が願う学校】 I love しんぐう！

- ◇地域に誇りをもち、ふるさと新宮を愛する心を育む
- ◇子どもや保護者の気持ちに寄り添う学校
- ◇地域人材や地域にある伝統に触れられる学校

【高山市の教育の方針・重点】

- ◆未来社会を想像する資質・能力を身につけ、学び続ける子の育成
- ◇主体的・対話的で深い学び～対話から議論！より深い学びへ～
・郷土教育 ・キャリア教育 ・プレゼン教育 ・ICT 教育
- ◇一人ひとりに合った居場所の実現

【児童の姿】

○よりよくなろうと頑張る(挑戦する)。多様性を受け入れ関わる温かさ。人懐こい子どもらしさ。学ぶ姿勢が向上。
さらに 自主性、学力、ねばり強さ、レジリエンス＊、他者意識(挨拶、言葉遣い)を UP し、一人一人に自信を！

＊レジリエンス:心の弾力性、折れないしなやか心 心の体力

【学校の教育目標】 輝 く 子 (進んで学ぶ子 共に歩む子 自ら鍛える子)

【これからの社会で生きぬくために育てたい 資質・能力】

自分のために 人のために 自分からねばり強く挑戦する力

生まれた時から輝く命をもった子ども達。日々様々な挑戦を積み重ねて、日々成長し続けている。失敗は挑戦した証であり必ず次の成長につながる。失敗を恐れず、失敗を誰かのせいにせず、自分から前をむいて挑戦し、困難にあってもねばり強く思考錯誤し挑戦を繰り返してほしい。その挑戦は、必ず自分のためになり、なりたい自分の礎となる。そして同時に人のためになり、温かい社会を創る礎となる。職員は、その挑戦を全力で応援すると共に、自らも挑戦者として自らねばり強く学び続ける。

指導の方針と重点 → 挑戦する力を育むために重点的に行う活動等

学力づくり	社会性づくり	体と心の健康づくり
(1)学ぶ環境を整える ・学習用具をそろえる 学習規律を守る ・スタートカリキュラムの充実 ・特別支援教育的視点からの配慮と充実	(1)居場所づくり・絆づくり ・みんなが楽しい学級・学年の経営 ・スマイル班活動の推進 ・発達支持的生徒指導	(1)健康の自己管理能力づくり ・学年に応じた系統的食育指導 ・心と体の健康教室(体・姿勢・コーディネーション(運動神経)トレーニング強化)
(2)基礎学力の定着 ・繰り返し練習問題に取り組む時間の位置づけ ・タブレットの効果的な活用 ・聴くこと、話すこと、書くことの指導	(2)挨拶・掃除・ほかほか言葉 ・時と場に応じたあいさつ ・心もみがくピカピカ掃除 ・ひびきあい活動の充実	(2)楽しんで行う体力づくり ・運動能力を向上させる ACP(アクティブ・チャイルド・プログラム)の実施 ・自主的な運動の推進
(3)子どもが主体の授業づくり ・目的や課題意識のある伝え合い ・学びの系統性や教材のつながりを意識した授業づくり	(3)暮らしを楽しむ特別活動 ・児童委員会、行事のわくわく企画 ・学級活動のわくわく企画	(3)心の体力・レジリエンスづくり ・事前アンケートを活用した教育相談 ・計画的な SST の実施

指導の構え

ウェルビーイング “Well-Beingな「みんなが楽しい学校を みんなでつくる」”

- ◆ 「子育てのパートナー」の関係機関と共に、協働して子ども達を育てる「チーム学校」
PTA、学校運営協議会、新宮地区まちづくり協議会、学校保健安全委員会、子ども支援関連施設、新宮保育園、中学校等 と積極的に連携を図る。
- ◆ 新宮小の教師集団が大切にすること = 子どもへの愛情と確かな指導力をもつ信頼される教師
対話 自ら学び続け「やりたいこと」ができる教師集団 二人教頭を核とした組織力 学年・学年団連携
目的の共有・多様な方法 研修の充実 個性が発揮され若手が育つ教師集団 働き甲斐と働き方改革の推進